

道連  
報告第53回  
通常総会

## 道内生協の連携を創っていく方針を確認

### 新会長に麻田信二氏(酪農学園理事長)が就任

6月11日(木)、当会は第53回通常総会を開催し、7つの議案を満場一致で承認して終了しました。代議員の出席は総数36名、実出席16名、書面議決20名でした。

総会は議長に猪原代議員(北海道労済生協)を選出し、高柳会長挨拶に続いて、ご来賓として出席戴いた道環境生活部・稲垣利彰部長から激励のご挨拶を戴いた後議事に入りました。昨年は改正生協法の施行に伴って定款・諸規約の改正が一斉に進められ、活動では原油価格の急騰への署名・中央要請、北海道農業応援プロジェクトの推進、ホクネット支援、消費者庁創設への学習など成果の多い年度でした。金融危機と経済の急落の中で今年は組合員の生活圧迫と生協事業の困難が予想されます。道内の生協は連携を強めようという方針を確認した総会でした。

2号議案では任意積立金を20百万円取り崩して損失金を処理することを決定、4号議案では初め



ご来賓で祝辞を述べる稲垣環境生活部長

て「役員選任規約」によって役員選任を行い、理事10名、監事3名を選任しました。同時に第1回理事会を開催して新会長に麻田信二理事(学校法人酪農学園理事長)を互選しました。なお、第1回監事会で特定監事に前川和廣監事が互選されました。

### ご挨拶

会長理事 麻田 信二



過日の総会において理事に選任され、理事会での互選によって会長理事に就任致しましたので、よろしくお願ひ致します。

今、世の中、俗に100年に1度の経済不況・金融危機と言われていますが、社会全体が非常に大きな時代の変り目にあると考えており、年金、医療、そして福祉の問題にしても国民は本当に大きな不安を抱えています。国・地方合わせて80兆円を超える借金がある中で、選挙が近いということもあって14兆円の今年度の補正予算が組まれましたが、多くの国民の不安は解消されそうにもありません。

また、こういう状況の中で、社会を良くするためには、国民一人ひとりの自覚が必要であると考えており、協同組合主義といったものが極めて重要です。これからの社会を

持続的に発展させていく道はこれ以外にないのではないかと常々思っています。

私の勤める酪農学園の創設者・黒澤西蔵先生も協同組合主義ということを強く主張されましたが、社会運動の先駆者賀川豊彦さんは、慈善活動では社会を救えないと生活協同組合運動にまい進されました。

道連の中では、コープさっぽろが大きなウエイトを占めていますが、コープさっぽろを先頭に、道内の生活協同組合それぞれの組織が組合員の生活を守り、そして北海道を良くしていくために活動することが必要であり、道連が連携をとりながらまとめて行ければと考えています。

また、昨年行なわれた3協の灯油の100万名署名活動といったような、協同組合主義で動いている団体が連携しながら、道民の生命と暮らしを守っていくことも必要だと考えています。

皆様から色々のご意見を伺いながら道連活動を進めて参りたいと考えておりますので、会員皆様方のご協力をお願い致します。

### 2009年度第1回協同組合間連絡協議会事業(情報交換会)の開催案内とご出席の要請

北海道の協同組合間連絡協議会は今年度も2回に亘って情報交換会を開催する計画ですが、第1回目を下記の要領で開催します。入協10年前後の職員の参加を要請します。ご参加可能な生協は道連まで職員名・役職をご連絡願います。

□日時 7月24日(金) 午後1時30分～4時

□会場 北農ビル19階・第5会議室(中央区北4条西1丁目)

□発表 テーマは「対外広報」で、JAグループの広報対策、コープさっぽろの広報政策が報告されます。

□講演 北海道フットボールクラブ広報事業部長(斗澤氏)の予定

## 第44回コープさっぽろ通常総代会が終了しました

6月5日、札幌市教育文化会館にて第44回通常総代会を開催し、本人出席339名と書面及び代理含め1,142名の総代が出席し、6つの議案が圧倒的多数で採決されました。(書面出席には函館、旭川、北見、帯広、釧路、苫小牧の6地区の総代557名を含んでいます)

冒頭、夕張市での移動販売車や赤平市での「トドックあかびら号」などコープさっぽろの地域での取り組みと、植樹、エコセンター等地球環境に関する取り組み、地域貢献に関わるさまざまな取り組みを映像にてご報告をし、麻田信二理事会常任議長が開会にあたってのあいさつをしました。

続いて、大見理事長より、先に行われた地区別総代会議と書面で寄せられたご意見・ご質問に対する回答を含めて議案提案を行いました。

当日は、3名の総代さんより「環境から考える安心・安全なくらし」、「環境に関する活動」、「ふれあいサロン」についての活動報告がありました。

2009年度は「一歩前へ、期待に応える」をスロー



6月5日、全議案が可決された第44回通常総代会

ガンとして、地域社会でのお役立ちを拡大し、売り上げ2,400億円、経常剰余30億円の目標達成に全力をあげます。

## 2009年度通常総代会が終了しました

5月26日、2009年度通常総代会が生協食堂にて18時30分より開催されました。今回の総代会では、通常の議案の他に第1次中期計画も提案し、全議案が可決されました。

旭川生協は、組合員数1,300人、専務理事の他は11人のパート職員で事業を営んでいる小さな大学生協です。この生協では、長年にわたる累積欠損の解消が課題になっていました。2008年度決算で繰越欠損金が50万円までに減少し、2010年度の総代会では、久しぶ

りに剰余金処分案を提案できる見通しが立ってきました。今まで累積欠損をなくすことが目標でしたが、「その後の目標を持つ必要があるだろう」ということが理事会で議論されていました。また、専務理事が毎3年で異動する事情もあり、課題をしっかり持って事業を進めていくことが大事であるので3カ年中期計画を策定しました。今後、健全な経営を安定的に推移させるとともに、掲げた課題を役職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

## 2009年度通常総代会が開催されました

北海道電力生活協同組合の「2009年度通常総代会」を6月11日(木)、札幌後楽園ホテルで開催しました。

今総代会出席者数は総定数114名中、出席総代106名、委任状出席2名でした。

議案は、「2008年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件」、「2008年度剰余金処分に関する件」、「2009年度事業計画および収支予算に関する件」、「役員報酬額に関する件」等、全8議案を提案・審議し、全議案とも承認されました。第8号議案の役員補充では、理事2名、監事1名の役員交代が承認されました。

当生協は「相互扶助」の精神に基づき、組合員の文化的・経済的向上を図ることを基本理念に、平成元年12月に事業を開始し今年で設立20周年の節目の年を迎えることとなりました。この間、物資供給から始まり、共済・保険と事業の拡大を図り、取扱高も順調に推移してきております。今後とも役職員一同、基本理念に

基づき組合員の生活の一助をなすべく組合員ニーズにあった事業展開と、30年、40年と安定した事業継続に向けて努力していく所存です。



総代108名が出席し、全議案が承認された通常総代会